

【研究概要】

心房細動に対してカテーテル心筋焼灼術（以下、アブレーション）を行う患者のうち、術前に心不全徴候がみられる患者において、アブレーション術後の運動療法が運動耐容能を改善するか否かを検討する。アブレーション術後に、運動療法を行う患者群と行わない患者群との2群間で、術後5か月後の運動耐容能とQOLを比較検討する。